

ことばの教室通信

10月

朝夕涼しくなり、秋の深まりを感じるようになってきました。

子供たちは、「後期はかけ算を頑張るんだ!」「長距離は苦手だけど、練習頑張って昨年より順位を上げたい。」など、自分の目標を立てて頑張っています。

体調を崩しやすい季節でもあるので、体調管理をしっかり行って元気に学校生活を送ってほしいと思います。

お知らせ

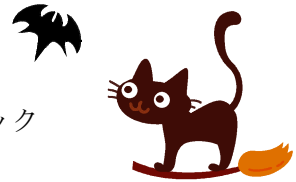


○親子レクリエーションについて

10月28日(土)に親子レクリエーションを実施します。親子で「ジェルキャンドル」を制作したり、知育ゲームで遊んだりします。

- ・時間 10:00～11:50 (受付9:45～)
- ・場所 東小学校 理科室 (三階校舎三階)
- ・持ち物 飲み物、タオル(制作後の手洗い用)、上履き、マイバック

※詳細は、配付した通知を御覧ください。



ワーキングメモリとは・・・

「ワーキングメモリ」とは、脳の黒板ともいわれ、情報を一時的に覚えておきながら、目的に合わせて取り出し、考える働きです。

「長期記憶」とは、すでに脳に蓄えられている(知っている)情報で、考えずに取り出せることをいいます。ワーキングメモリは会話したり、料理をしたり、運動をしたりするときなどに使われ、日常生活に欠くことができない機能です。

例えば、キッチンからリビングに来たものの、「あれ、何しに来たんだっけ?」と思い出せないといったことは、誰しも経験したことがあるでしょう。おそらく何かを取りに来たのだろうけど、リビングのドアを開けたときには、何を取りに来たのか忘れてしまう。キッチンからリビングに移動するという運動に気を取られて、覚えていたことを忘れてしまっているということがあります。大人でも起こることなので、子供ではなおさらです。

「目的」を覚えておくことは、子供にとって、大人が思うほど簡単なことではないのです。この「目的を覚えておく」ことこそが、ワーキングメモリの基本的な働きです。

参考図書：ワーキングメモリを生かす効果的な学習支援より(学研)

声のボリューム0で考える力を育てます



自分の思いや考えを相手に伝えるときには、声の大きさもポイントになってきます。子供たちには、「声のものさし」を使って、場面による声の大きさの度合いを確認しています。

「相手に伝わる声の大きさ」と同時に大切にしていることは、「声のボリューム0」です。

「声のボリューム0」は、声に出さずに心の中で考えることです。思いついたことをすぐに声に出してしまう子供たちには、「まず、心の中で言ってみよう。」と声を掛け、話さないというだけでなく、心の中で考える力を育てています。

